

平成27年度第3四半期
經過的長期給付組合積立金 運用狀況

 警察共済組合

経過的長期給付組合積立金の運用について

- 経過的長期給付組合積立金の運用は、新規の掛金収入が発生しないという閉鎖型年金の特性を踏まえ、下振れリスクに特に留意しつつ、将来にわたる負債と積立金との関係を常に意識しながら、経過的長期給付事業の運営の安定に資することを目的としています。

平成27年度第3四半期運用状況の概要

- 第3四半期の運用資産額は、1兆4,543億円となりました。
- 第3四半期の修正総合収益率(期間収益率)は、+2.34%となりました。
なお、実現収益率は、1.09%です。
- 第3四半期の総合収益額は、+335億円となりました。
なお、実現収益額は、+136億円です。

(単位:億円)

| | 平成26年度 | 平成27年度 | | | | 年度 |
|--------------------|--------|--------|-------|------------------|-------|------------------|
| | | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | |
| 資産残高 | | | | 14,543 | | 14,543 |
| 修正総合収益率 (実現収益率) | | | | 2.34% (1.09%) | | 2.34% (1.09%) |
| 総合収益額 (実現収益額) | | | | 335 (136) | | 335 (136) |

※ 年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要ですが、運用に対する組合員等の理解を促進するため、また、情報公開による透明性の確保という観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

総合収益額は、各期末時点での時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変化するものであることに留意が必要です。

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 収益率は、各四半期に係るものです。また、平成27年度の収益率は、被用者年金制度が一元化された平成27年10月以降のものです。



資産状況

(単位:億円)

| | 平成26年度 | | 平成27年度 | | | | | | | |
|------|------------|-----|------------|-----|------------|-----|----------------------|---------|------------|-----|
| | 時価 (簿価) | 構成比 | 第1四半期 | | 第2四半期 | | 第3四半期 | | 第4四半期 | |
| | | | 時価 (簿価) | 構成比 | 時価 (簿価) | 構成比 | 時価 (簿価) | 構成比 | 時価 (簿価) | 構成比 |
| 国内債券 | | | | | | | 7,378 (7,010) | 50.73% | | |
| 国内株式 | | | | | | | 2,331 (1,638) | 16.03% | | |
| 外国債券 | | | | | | | 2,752 (2,475) | 18.93% | | |
| 外国株式 | | | | | | | 1,907 (1,207) | 13.11% | | |
| 短期資産 | | | | | | | 175 (173) | 1.20% | | |
| 合計 | | | | | | | 14,543 (12,503) | 100.00% | | |

(注1) 数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 基本ポートフォリオは、国内債券35%(±15%)、国内株式25%(±14%)、外国債券15%(±6%)、外国株式25%(±12%)です。
 なお、当組合の基本的な方針に基づき、基本ポートフォリオへ移行するまでの間、許容乖離幅を超過することは許容されています。

(注3) 当組合の独自資産(不動産及び貸付金)及び生命保険(一般勘定に限る。)は、国内債券に含めています。

(注4) ヘッジ付き外貨建て債券については、リスク・リターン等の特性に応じて、国内債券に含めています。



収益率の状況

| | 平成26年度 | 平成27年度 | | | | |
|--------------------|--------|--------|-------|--------------------|-------|--------------------|
| | | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 年度 |
| 修正総合収益率 (実現収益率) | | | | 2.34% (1.09%) | | 2.34% (1.09%) |
| 国内債券 | | | | 0.77% | | 0.77% |
| 国内株式 | | | | 9.74% | | 9.74% |
| 外国債券 | | | | -1.29% | | -1.29% |
| 外国株式 | | | | 5.86% | | 5.86% |
| 短期資産 | | | | 0.34% | | 0.34% |

(注1) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 収益率は、各期間に係るものです。また、平成27年度の収益率は、被用者年金制度が一元化された平成27年10月以降のものであります。



収益額の状況

(単位:億円)

| | 平成26年度 | 平成27年度 | | | | |
|------------------|--------|--------|-------|----------------|-------|----------------|
| | | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 年度 |
| 総合収益額 (実現収益額) | | | | 335 (136) | | 335 (136) |
| 国内債券 | | | | 57 | | 57 |
| 国内株式 | | | | 208 | | 208 |
| 外国債券 | | | | -36 | | -36 |
| 外国株式 | | | | 106 | | 106 |
| 短期資産 | | | | 1 | | 1 |

(注1) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 数値は四捨五入のため、各数値の合算と合計値は必ずしも一致しません。

(注3) 収益額は、各期間に係るものです。また、平成27年度の収益額は、被用者年金制度が一元化された平成27年10月以降のものであります。



平成27年第3四半期運用環境

【各市場の動き:10月~12月】

国内債券:10年国債利回りは、追加金融緩和への期待感から低下(債券価格は上昇)しました。12月の金融政策決定会合で日銀が追加金融緩和を実施したことから、低下傾向が続きました。

国内株式:国内株式は、第2四半期の大幅下落からの反発に加え、世界経済の回復期待や企業業績の底堅さなどから上昇基調となりました。12月に入ると円高進行に伴う企業業績悪化懸念や海外株式市場の不安定な動きなどから、上値の重い展開となりました。

外国債券:米国10年国債利回りは、FRBの約9年半ぶりの政策金利引き上げを受けて上昇しました(債券価格は下落)。ドイツ10年国債利回りは、ECBの追加金融緩和に対する失望感から上昇(債券価格は下落)しました。

外国株式:外国株式は、第2四半期の大幅下落からの反発に加え、中国の金融緩和やECBの追加金融緩和示唆などから上昇基調となりました。12月に入ると一段の原油安やECBの追加金融緩和に対する失望感から下落基調となりました。

